

Hot Paper

Kurata Akiko



2025. 春 No.12



くらた あきこ
桑名市議会 倉田 明子 会派 絆

春の訪れとともに、新たな年度が始まります。本市が誕生して20年。少子高齢化や地球温暖化などの課題に向き合いながらも、地域の絆を大切に、夢のある未来に向けて歩みを進めてきました。未曾有のコロナ禍を経験し、グロー

バル化が進む今だからこそ、誰もが安心して暮らせるまちづくりの大切さを改めて実感しています。新たな20年の歩みが、子どもも大人も、誰もが笑顔で過ごせる未来につながるよう、力を尽くしてまいります。

活動報告



カスタマーハラスメント防止条例で賛成討論。

誰もが安心して働き事業を続けられる環境をつくることで、市民の皆さんの暮らしをより豊かにし、地域の経済を健全に発展させることを目的とした「桑名市カスタマーハラスメント防止条例の制定」の議案に対し、会派を代表し、賛成討論を行いました。



VRゴーグルで原爆被害等を疑似体験。

VRゴーグル(仮想現実を体験するための頭部装着型映像装置)で原爆被害等を疑似体験しました。戦争体験を語り継ぐ方々の高齢化が進む中、原爆被害の実態を体感できるVRゴーグルは、戦争の悲惨さを次世代に伝えるための有効な手段の一つとなると考えます。



令和7年
桑名広域清掃
事業組合
議会議長に就任
しました。

伊勢大橋の橋桁と架設工事を担っているJFEエンジニアリング(株)津製作所を会派で視察させていただきました。



子ども食堂“わくわくフレンズ”の職業体験“ワクワクワーク”で「桑名市議会のお仕事」をクイズ方式で説明しました。

子どもたちに議員という仕事を身近に感じてもらえたら嬉しいです。



レベル4に向けた「自動運転実証実験体験試乗」が、長島駅・ナガシマスパーランド間で行われました。

少子高齢化に伴う労働人口の減少、高齢者の運転免許証返納者の増加に伴う公共交通へのニーズの高まりなど、山積する社会的課題に対処する重要な手段として、今後も注視していきたいと思えます。



議会活動

昨年11月、伊藤徳宇市長が再選を果たし、4期目がスタートした初めての市議会及び令和7年第一回定例会において、会派「絆」代表として、代表質疑を行いました。一部ではありますが、質疑と答弁、それに対する倉田の思いを掲載させていただきます。



質疑① 誰一人取り残さない社会の実現について

令和6年 第4回定例会代表質疑

女性が健康で活躍できる政策の推進について

女性が自分らしく輝けるまちづくりに向けた取組とは



質疑 倉田明子

市長は、所信表明で「女性がこころとカラダを大切に、健康な状態で活躍できる政策を推進する」と述べられているが、どのように取り組んでいこうと考えているか。

選挙期間中も多くの女性の方と話す機会があり、女性特有の悩みを抱えている方が多いことを感じた。これまでも男女共同参画を推進してきたが、いまだ男性中心の社会であり、多くの女性が抱えている課題に男性が気づいていないことや、社会が見過ごしてきたということが見えてきた。この課題にしっかり向き合い、女性が健康で自分らしく活躍できる社会を作るために、男性も含めた大学生、専門家、経営者などの皆さんで、女性のこころとカラダに向き合い、意見交換をしながら研究を進める“ラボ”の立ち上げを考えている。現在、漢方や薬膳といった東洋医学に知見のある鈴鹿医療科学大学様との包括的な連携、女性が容易に体調管理できるスマホアプリ「ルナルナ」を運営している(株)エムティーアイ様との連携を進めている。



答弁 伊藤徳宇市長



倉田の思い

男性である市長が女性特有の課題に真正面から向き合うことは、決して容易なことではないと思えます。それでも市長は女性の生の声に耳を傾け、その意見が行政の立案に不可欠であると感じ、その思いを胸に課題解決に向けて今まさに行動を起こそうとしています。女性特有の課題は複雑で多岐に及ぶので解決に至る道のりは長いと思えますが、「女性が自分らしく輝けるまち桑名」の実現に向けて、私もしっかり取り組んでいきたいと思えます。

質疑② 時代の変化に対応できる行政について

令和6年 第4回定例会代表質疑

人口減少社会への対応について

AIをどのように活用していくか



質疑 倉田明子

人口減少社会においては、市の職員数も抑制される可能性が高い。そのような中において住民サービスの質を保っていくためには、業務の効率性の向上が必要と考える。日々進化を遂げているAIを、市はどのように活用していくか。

近年のAI技術の進展は目覚ましく、本市においても、こうした技術をいち早く取り入れている。例えば議事録の作成や資料の要約、事業に関するアイデア出し、文書原案の作成やデータ分析などに利用している他、市民サービスとして「子育てAIチャットボット」を導入している。人口減少社会は深刻化している。誰一人取り残さない持続的なまちづくりを実現するためには、行政の仕事のあり方も大きく変革して必要があると考える。AIをはじめとするデジタル技術も積極的に活用することで、業務の徹底した効率化を図り、職員が市民の皆さまとしっかり向き合えるようにしていく。



答弁

金子洋三理事 (デジタル最高責任者
スタートアップ担当)



倉田の思い

皆さんChatGPTを使ったことはありますか？質問(メッセージ)を打ち込むと、アツという間に想像を上回る的確な答えが返ってきて、驚かされます。文書作成等はもちろん、データ分析もできるので、AIの活用は業務効率を向上させる有効な手段と考えます。しかし、業務の効率化は、あくまで市民サービスの質を落とさないため、市民の皆さまと向き合う時間を生み出すためであり、効率のみを優先するものではありません。市民の皆さまに寄り添う姿勢を大切にしながら、AIを適切に活用し、より良い行政サービスの提供を目指してほしいと思います。

質疑③ 重点プロジェクトについて

令和7年 第1回定例会代表質疑

桑名駅及び周辺整備の状況と今後について

駅西口及び駅東口界隈の整備状況は



質疑 倉田明子

桑名駅が新しく生まれ変わったとき、本当に多くの方から喜びの声をいただいた。あらためて桑名駅の影響力と、桑名駅に対する期待の大きさを感じたところである。「桑名駅及び駅周辺整備の現状と今後について」市の考えをお聞きする。

駅西口界隈の現状としては、令和7年6月21日には桑名駅西口ロータリー並びに駅へのアクセス道路となる都市計画道路「西桑名西方線」の供用を開始し、翌22日から路線バスが駅西ロータリーに乗り入れを開始する予定である。現在の暫定ロータリーには官民連携による社会実験としてカフェなどの利便施設やトイレの設置に向けた提案募集の準備を進めている。その他「蛸塚益生線」の整備、「国道421号線」の拡張・区画を中心に整備を進めている。駅東口界隈に関しては、バスターミナル北側に雨除け屋根の設置、既存トイレの様式化工事を実施した他、桑栄ビル西側のベデストリアンデッキの撤去工事を実施している。駅前広場とホテルの一体的整備は現在、長島観光開発(株)と協議を行っているところである。桑栄ビル用地の所有権移転に遅れが生じているが、令和7年中に解体工事に着手できるよう積極的に技術的支援を行っていく。



答弁

西尾英哲都市創造部長



倉田の思い

駅東口界隈に関し「桑栄ビル北側へも効果が及ぶような魅力的な整備」に対する再質疑を行い「このエリアは市が計画する再開発事業はないが高度利用と商業機能の誘導を図る地区としているので、商業業務の活性化及び人口減少対策に寄与する一定規模以上の建設計画に対し補助金を交付する制度を設け民間の開発意欲を刺激し駅周辺複合施設等整備事業との相乗効果を創出できる取組を進めている」と答弁いただきました。「桑名駅は桑名の顔」だと私は思っています。単なる通過地点でなく、訪れたい場所、人が集う場として、賑わい創出が図られるよう取り組んでいただくよう働きかけていきたいと思っております。

その他の質疑

令和6年第4回定例会

- 子どもをまんなかに据えた政策の展望について
- 子育て分野における取組の成果について
- 人口減少社会への対応について
- 近年発生している想定を上回る各種災害への対応について
どのように考えているか
- 地域との連携状況は ●コロナ禍で学んだことと今後への備えは

令和7年第1回定例会

- 桑名の未来像について
- まちづくりの課題と解決策は
- ウェルビーイング社会の実現について
- 国際化戦略について
- スマートシティの実現について

詳細はこちらの
桑名市議会
ホームページを
ご参照ください



HP



facebook



Instagram

ホームページ
<https://akiko-kurata.com>

“倉田明子”で検索してください。

倉田明子

連絡先: 桑名市松ノ木7-9-13
TEL・FAX: 32-2432